

令和4年度事業報告書

(令和4年4月1日から令和5年3月31日)

1. 事業概要

今期、畜産物の生産に関しては、全国では高病原性鳥インフルエンザの過去最多の発生により、特に鶏卵の生産量が著しく減少するなど、大きな影響が出たものの、本県においては各畜種とも概ね順調に推移した。

一方経営に影響を与える社会情勢については、長引く新型コロナウイルス感染症の影響により畜産物の外食や観光業などの業務用、加工用需要は長期に低迷し、コロナとの共生が模索される中にあっても経済的なマイナスの影響が常態化している状況であった。

さらに、ロシアによるウクライナ侵攻の影響も加わり、円安や原油価格の高騰により、かつてない飼料や資材の価格上昇を招くとともに、農業機械の調達難など、全ての畜種においてその経営に大きな影響を及ぼした。なかでも酪農経営に与える影響は深刻で、廃業を余儀なくされた経営体が発生するなど、経営を維持することが困難な状況となりつつある。

このような中、当協会では、飼料価格の高騰対策として県において年度途中で緊急的に事業化された、粗飼料緊急確保支援事業の実施主体として、多くの生産者に支援し、畜産経営継続の後押しを行った。

また、肉用子牛生産者補給金事業、肉用牛肥育経営安定事業などの畜産経営安定のための各種支援事業や経営指導支援に加え、家畜伝染病対策として、日常的な衛生管理の強化や農場の清浄性の維持を図るための取り組みについて、関係団体との連携を強化しつつ関係事業の実施に努めた。

令和4年度における各種事業の具体的な実施状況は以下のとおりである。

2. 事業の実施状況

I. 法人運営管理

1. 総会

(1) 令和4年度定時総会

開催日・場所 令和4年6月27日(月) 島根JAビル

議案

第1号議案 令和3年度事業報告書、財務諸表の承認について

第2号議案 役員改選について

(2) 令和4年度第1回臨時総会(書面決議)

開催日・場所 令和4年9月13日(火) 島根JAビル別館

議案

第1号議案 役員補欠選任について

(3) 令和4年度第2回臨時総会

開催日・場所 令和5年3月27日(月) 島根JAビル

議案

第1号議案 令和5年度事業計画および収支予算について

第2号議案 生産者積立金融資産事業資金の借入れについて

付帯決議

2. 理 事 会

(1) 第1回理事会 (書面決議)

開催日・場所 令和4年4月22日(金) 島根JAビル別館

議 案

第1号議案 肉用牛肥育経営安定交付金制度に係る業務方法書の一部改正について

(2) 第2回理事会

開催日・場所 令和4年6月10日(金) 島根JAビル

議 案

第1号議案 令和3年度事業報告書、財務諸表の承認について

第2号議案 肉用子牛生産者補給金制度に係る生産者積立準備金の業務対象年間途中における令和4年度の返還について

第3号議案 肉用牛肥育経営安定交付金制度に係る事務手数料の徴収について

第4号議案 令和4年度島根県肉用牛経営安定対策補完事業実施要領の制定について

第5号議案 公益社団法人島根県畜産振興協会と理事との契約の承認について

第6号議案 役員の改選について

第7号議案 令和4年度定時総会の開催について

第8号議案 その他

付 帯 決 議

(3) 第3回理事会

開催日・場所 令和4年6月27日(月) 島根JAビル

議 案

第1号議案 会長、副会長、専務理事の選定について

(4) 第4回理事会 (書面決議)

開催日・場所 令和4年8月26日(金) 島根JAビル別館

議 案

第1号議案 役員の補欠選任について

第2号議案 令和4年度第1回臨時総会の開催について

(5) 第5回理事会 (書面決議)

開催日・場所 令和4年9月22日(木) 島根JAビル別館

議 案

第1号議案 令和4年度島根県肉用牛経営安定対策補完事業実施要領の一部改正について

第2号議案 肉用牛肥育経営安定交付金制度に係る事務委託契約の締結について

(6) 第6回理事会

開催日・場所 令和5年3月7日(火) 島根JAビル別館

議 案

第1号議案 令和4年度収支補正予算について

第2号議案 令和5年度事業計画および収支予算について

第3号議案 生産者積立金融資産の借入れについて

第4号議案 令和5年度役員報酬の決定について

第5号議案 令和4年度第2回臨時総会の開催について

- 第 6 号議案 令和 4 年度島根県肉用牛経営安定対策補完事業（強化哺乳技術を活用した
早期出荷支援事業）実施要領の制定について
- 第 7 号議案 「公益社団法人島根県畜産振興協会家畜衛生部業務方法書」の全部改正 に
ついて
- 第 8 号議案 「家畜伝染性疾病発生予防事業実施規程」の全部改正について
- 第 9 号議案 「家畜伝染病予防接種事故対策事業実施要領」の全部改正について
- 第 10 号議案 「獣医師の指定に関する規程」の全部改正について
- 第 11 号議案 「人事規程」の一部改正について
- 第 12 号議案 「定年再雇用規程」の一部改正について
- 第 13 号議案 「旅費規程」の一部改正について
- 第 14 号議案 「職場におけるハラスメントの防止に関する規程」の制定について
- 第 15 号議案 その他
- 付 帯 決 議
- 報 告 事 項 償還円滑化積立金に係る返還先調査の取組状況について

3. 監 査 会

(1) 令和 3 年度監査会

開催日・場所 令和 4 年 6 月 1 日（水） 島根 J A ビル

監査内容 令和 3 年度事業報告、貸借対照表、正味財産増減計算書、付属明細書、
財産目録について監査を受け、適正なものと認められた。

4. 会員の状況

区 分	期 首	入 会	退 会	期 末
正 会 員	1 4	0	0	1 4
賛助会員	0	0	0	0
計	1 4	0	0	1 4

II. 公益目的事業

1. 畜産農家に対する経営の支援・指導のための事業

(1) 畜産経営支援・指導事業

ア. 畜産経営技術指導事業（地方競馬全国協会）

実績額 12,038千円

畜産経営技術高度化推進事業をはじめとする畜産経営技術指導等を推進するとともに、畜産関係機関団体との連携を図りながら、畜産振興支援業務等を実施し、地域畜産の振興を図った。

イ. 畜産経営技術高度化推進事業（島根県）

実績額 75千円

専門家支援チームを設置し、個別経営の支援指導を行った。

<専門家支援チームの設置>

総括畜産コンサルタント	畜産コンサルタント	非常勤畜産コンサルタント
1人	1人	3人

<畜産経営技術の総合支援指導の実施>

区分	生産技術支援指導	経営技術支援指導	計
肉用牛繁殖経営	1戸	1戸	実1戸（のべ2回）

ウ. 畜産特別資金等推進指導事業（(公社)中央畜産会）

実績額 796千円

畜産特別資金等借受者の経営状況等を把握するための現地調査及び助言・指導等を行った。

区分	回数	備考
都道府県支援推進協議会の開催	1	9名出席
経営改善計画達成指導に係る現地調査	のべ 13回	借受者7戸（各戸2回、1戸のみ1回）
借受者の経営改善のための指導資料作成	11部	指導に係る現地調査結果等

エ. 畜産生産性向上促進総合対策事業（独自事業）

実績額 1,426千円

個別経営の支援指導を実施するとともに、経営管理能力向上に資するための簿記研修を開催した。

また、県内産畜産物を素材とした料理教室を開催し、地元畜産農家に対する理解醸成を図った。

さらに、馬事畜産振興を図るため、協賛レースを実施するとともに「しまね和牛」のPRを図った。

<個別経営支援指導の実施>

畜種	生産技術支援指導	経営技術支援指導	計
肉用牛繁殖経営	1戸	1戸	実1戸(のべ2回)

<簿記研修会の開催>

開催時期	場所	出席者数	内容
令和4年7月	隠岐郡西ノ島町	4名	簿記と経営分析の理解
令和4年9月	隠岐郡西ノ島町	5名	ソリマチ入力実践等

<県産畜産物を使用した親子料理教室の開催>

開催時期	場所	参加者数	使用食材
令和5年3月	松江市東津田町	3組6名	県内産和牛肉・卵

<馬事畜産振興の実施>

区分	回数	レース名
川崎競馬における協賛レース	1回	黒毛のふるさと“しまね和牛”賞 「ご縁の国しまね」特別

オ. 第12回全国和牛能力共進会鹿児島大会に係る支援事業

実績額 2,300千円

出品対策委員会のオブザーバーとして支援を行った。

支援時期	支援内容
令和4年4月	輸入乾牧草の価格高騰を受け、第12回全共出品候補牛の良質粗飼料確保対策として1,000千円を支援した。
令和4年10月6日 ～10日	開催会場において、当協会職員(14名)を2班に編成し、全国銘柄牛PRブースにて島根和牛、担い手育成、獣医師の確保、観光のPR活動を行った。

(2) 農業機械・装置貸付事業等指導事業

ア. 貸付事業指導等事業 ((公財)畜産近代化リース協会)

実績額 91千円

公益財団法人畜産近代化リース協会から生産者に対して貸し付けが行なわれている設備・機械・器具および車輛について、利活用・保守管理状況の確認調査等を行うための台帳の整備を行った。

区分	生産者 (最終借受者)	農業協同組合 (再貸付団体等)
台帳整備	5	2

イ. 畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業 ((公社)中央畜産会)

実績額 1,199千円

1) 県内の各畜産クラスター協議会の中心的経営体に取り組む収益力強化のための機械導入(リース等)事業について、事業の推進業務や事業申請書等の取りまとめ、県との協議窓口業務等を行った。

参加要望協議会数	参加要望取組主体数	参加申請取組主体数	申請機械装置件数
のべ9	のべ9	4	9

2) 導入された機械装置の取組主体、リース事業者による検収作業を補完するため、現地確認作業を実施した。

協議会数	取組主体数	機械装置数
2	2	2

ウ. 酪農労働省力化推進施設等緊急整備対策事業 (楽酪GO事業) ((公社)中央畜産会)

実績額 78千円

労働負担軽減事業の円滑な推進を図るため、県内における事業推進(PR)及び事業参加要望の取りまとめ等を行った。

区分	回数	備考
事業推進会議の開催	3	会議開催及び県担当者会議による周知
事業参加要望の取りまとめ	1	

エ. 畜産経営体生産性向上対策事業(畜産ICT事業) ((公社) 中央畜産会)

実績額 81千円

労働負担軽減事業の円滑な推進を図るため、県内における事業推進(PR)及び事業参加要望の取りまとめ等を行った。

区 分	回 数	備 考
事業推進会議の開催	3	会議開催及び県担当者会議による周知
事業参加要望の取りまとめ	1	

2. 畜産経営安定のための補給金等の交付や生産活動の支援等のための事業

(1) 畜産物価格安定対策事業

ア. 肉用子牛生産者補給金制度 ((独) 農畜産業振興機構・生産者手数料)

実績額 23,288千円

肉用子牛の価格が低落し、一定の基準価格を下回った場合に、生産者に対し補給金を交付し肉用子牛生産の安定を図る事業である。

令和4年7月～9月期及び10月～12月は乳用種において平均売買価格が保証基準価格をそれぞれ下回ったため生産者補給金の交付を行った。

令和4年1月～3月期はその他の肉専用種において平均売買価格が保証基準価格を下回り生産者補給金の発動があったが、本県においては該当する子牛がいなかったため交付はなかった。

肉用子牛保証基準価格及び合理化目標価格の改定は無かった。

1) 生産者積立金造成内訳

単位：円

品種区分	契約頭数	積立単価	積立額	積立額(負担区分)		
				国	県	生産者
黒毛和種	7,558	1,600	12,092,800	6,046,400	3,023,200	3,023,200
褐毛和種	1	6,000	6,000	3,000	1,500	1,500
その他の肉専用種	0	18,800	0	0	0	0
乳用種	1,068	6,800	7,262,400	3,631,200	1,815,600	1,815,600
交雑種	1,814	3,200	5,804,800	2,902,400	1,451,200	1,451,200
合 計	10,441	—	25,166,000	12,583,000	6,291,500	6,291,500

(注) 1. 契約頭数及び積立造成時期は、令和4年1月～12月

2. 契約生産者の1頭当たり積立金額

黒毛和種：400円、褐毛和種：1,500円、その他の肉専用種：4,700円

乳用種：1,700円、交雑種：800円

2) 特別の積立金

<旧高騰時積立金>

単位：円

品種区分 区分		黒毛和種	その他の 肉専用種	乳用種	交雑種	計
		期首残高	753,431	0	0	0
増加	積立金	0	0	0	0	0
	運用益	15	0	0	0	15
	小計	15	0	0	0	15
減少	普通財産へ繰入	0	0	0	0	0
	小計	0	0	0	0	0
期末残高		753,446	0	0	0	753,446

<償還特別積立金>

単位：円

品種区分 区分		黒毛 和種	その他の 肉専用種	乳用種	交雑種	計
		期首残高	0	9,780,429	6,553,244	23,307,953
増加	積立金	0	0	0	0	0
	運用益	0	195	131	0	326
	小計	0	195	131	0	326
減少	償還円滑化積立金繰入	0	0	0	0	0
	小計	0	0	0	0	0
期末残高		0	9,780,624	6,553,375	23,307,953	39,641,952

3) 償還円滑化積立金の造成状況

なし

4) 生産者補給交付金交付状況

単位：戸、頭、円

区 分		黒毛和種	褐毛和種	その他の肉専用種	乳用種	交雑種	合 計
契約生産者数		—	—	—	—	—	804
契約登録頭数		7,558	1	0	1,068	1,814	10,441
保証基準価格		541,000	498,000	320,000	164,000	274,000	—
合理化目標価格		429,000	395,000	253,000	110,000	216,000	—
R4 1～ 3月	平均売買価格	730,200	589,500	311,800	231,200	324,400	—
	生産者補給金単価	—	—	8,200	—	—	—
	交付対象頭数	—	—	0	—	—	—
	生産者補給金交付額	—	—	0	—	—	—
R4 4～ 6月	平均売買価格	668,500	553,100	—	210,000	293,300	—
	生産者補給金単価	—	—	—	—	—	—
	交付対象頭数	—	—	—	—	—	0
	生産者補給金交付額	—	—	—	—	—	0
R4 7～ 9月	平均売買価格	605,400	536,800	—	149,500	275,400	—
	生産者補給金単価	—	—	—	14,500	—	—
	交付対象頭数	—	—	—	210	—	210
	生産者補給金交付額	—	—	—	3,045,000	—	3,045,000
R4 10～ 12 月	平均売買価格	614,000	534,100	—	127,400	301,400	—
	生産者補給金単価	—	—	—	36,600	—	—
	交付対象頭数	—	—	—	129	—	129
	生産者補給金交付額	—	—	—	4,721,400	—	4,721,400
合計	交付対象頭数	—	—	0	339	—	339
	生産者補給金交付額	—	—	0	7,766,400	—	7,766,400

※「その他の肉専用種」については、令和2年度より算定期間が1年(4月～3月)となった。

イ. 優良肉用子牛生産推進緊急対策事業 ((独)農畜産業振興機構)

実績額 6,727千円

肉用子牛の飼養頭数を維持するため、畜舎の環境改善や疾病の防止等を通して経営改善に取り組む肉用子牛生産者に対し、子牛の平均販売価格が一定の基準価格を下回った場合に奨励金を交付し肉用子牛生産の安定を図る。

令和4年8月～12月は乳用種において平均売買価格が発動基準価格をそれぞれ下回ったため奨励金の交付を行った。褐毛和種及びその他の肉専用種については対象子牛の販売がなかったため、奨励金の交付はなかった。

奨励金交付状況

単位：戸、頭、円

区 分		黒毛和種	褐毛和種	その他の 肉専用種	乳用種	交 雑 種	合 計
事業参加申込者数		—	—	—	—	—	571
発動基準価格A		600,000	550,000	350,000	180,000	300,000	—
発動基準価格B		570,000	530,000	340,000	170,000	290,000	—
R4.6月	平均価格	657,878	606,048	—	202,915	311,510	—
	奨励金単価	—	—	—	—	—	—
	交付対象頭数	—	—	—	—	—	—
	奨励金交付額	—	—	—	—	—	—
R4.7月	平均価格	641,898	576,473	—	192,930	318,385	—
	奨励金単価	—	—	—	—	—	—
	交付対象頭数	—	—	—	—	—	0
	奨励金交付額	—	—	—	—	—	0
R4.8月	平均価格	628,901	561,972	—	141,232	300,088	—
	奨励金単価	—	—	—	30,000	—	—
	交付対象頭数	—	—	—	81	—	81
	奨励金交付額	—	—	—	2,430,000	—	2,430,000
R4.9月	平均価格	635,712	533,835	—	134,723	305,624	—
	奨励金単価	—	10,000	—	30,000	—	—
	交付対象頭数	—	0	—	24	—	24
	奨励金交付額	—	0	—	720,000	—	720,000
R4.10月	平均価格	644,727	511,067	249,142	123,640	324,124	—
	奨励金単価	—	30,000	30,000	30,000	—	—
	交付対象頭数	—	0	0	48	—	48
	奨励金交付額	—	0	0	1,440,000	—	1,440,000
R4.11月	平均価格	654,079	542,840	—	142,477	330,912	—
	奨励金単価	—	10,000	—	30,000	—	—
	交付対象頭数	—	0	—	25	—	—
	奨励金交付額	—	0	—	750,000	—	—
R4.12月	平均価格	666,081	591,350	252,161	148,808	342,194	—
	奨励金単価	—	—	30,000	30,000	—	—
	交付対象頭数	—	—	0	26	—	—
	奨励金交付額	—	—	0	780,000	—	—
合 計	交付対象頭数	—	—	0	204	—	204
	奨励金交付額	—	—	0	6,120,000	—	6,120,000

※「黒毛和種」については、ブロック別に算出。それ以外は全国の平均価格

ウ. 和子牛生産者臨時経営支援事業 ((独)農畜産業振興機構)

実績額 253千円

肉用子牛生産基盤の安定を図るため、合理化促進に向け努力する和子牛(黒毛和種・褐毛和種・その他の肉専用種)の生産者に対し、四半期ごとに公表される平均販売価格が一定の基準価格を下回った場合に、支援交付金を交付する。令和4年度は支援交付金の交付はなかった。

事業参加申込者数 596名

エ. 肉用牛肥育経営安定交付金制度 ((独)農畜産業振興機構・生産者手数料)

実績額 11,603千円

肥育牛1頭当たりの粗収益が生産費を下回った場合に、契約生産者に対して、その差額の90%を交付金として交付する。交付時にはその4分の3を国の交付金から、4分の1を生産者負担金から交付する。全品種に対し総額138,795千円余の交付を行った。

<交付金単価(1頭当たり単価)の推移>

単位:円

	肉専用種	交雑種	乳用種
R4. 4月	—	—	39,903.3
R4. 5月	—	—	42,264.9
R4. 6月	—	30,939.3	43,892.1
R4. 7月	—	34,163.1	38,371.5
R4. 8月	59,355.9	43,261.2	44,452.8
R4. 9月	49,996.8	21,557.7	40,458.6
R4. 10月	55,620.0	10,291.5	43,010.1
R4. 11月	14,819.4	1,765.8	36,964.8
R4. 12月	—	—	49,166.1
R5. 1月	37,648.8	12,947.4	43,470.9
R5. 2月	85,851.0	46,034.1	45,992.7
R5. 3月	66,468.6	10,440.0	56,792.7

<令和4年度の契約生産者数及び交付金交付頭数等>

単位:戸、団体、頭、円

区分	契約 生産者数	事務委託 団体数	交付金交付	
			頭数	金額
肉専用種	27	2	2,171	89,771,031
交雑種			1,616	32,637,047
乳用種			387	16,387,425
計			4,174	138,795,503

<令和4年度の基金積立額>

単位:円

区分	肉専用種	交雑種	乳用種	計
生産者	142,372,000	67,311,000	10,887,000	220,570,000

オ. 粗飼料緊急確保支援事業（島根県）

実績額 256,297千円

飼料の高騰により悪化している畜産農家の経営継続を緊急的に支援するために、輸入粗飼料を購入した農家に対し、飼料費の一部を支援金として交付した。

肉用牛農家 158 戸、酪農家 66 戸に対し総額 255,638 千円余の交付を行った。

単位：戸、円

区分	R4. 1～6 月		R4. 7～12 月		年計
	交付人数	交付額	交付人数	交付額	交付額
肉用牛	158	16,533,400	142	35,195,100	51,728,500
酪農	66	60,953,900	63	142,955,700	203,909,600
合計	224	77,487,300	205	178,150,800	255,638,100

※乳肉複合経営は酪農に含む。

(2) 肉用牛経営安定対策を補完する事業

ア. 肉用牛経営安定対策補完事業（地域における肉用牛生産基盤強化等対策事業）

((独)農畜産業振興機構)

実績額 22,082千円

地域の中核的担い手が繁殖雌牛を増頭した場合や、生産農家が互いに助け合う肉用牛ヘルパー活動、条件不利地である離島での肉用牛生産などに対し補助金を交付することにより、各地域の自主性と創意工夫による生産活動への支援を行った。

20 団体に対し、総額 18,464 千円余を交付した。

<事業の内容と事業費>

単位：円

区 分	事業費		事業実施集団
		うち補助金	
1. 肉用牛生産基盤強化対策事業			
(1) 中核的担い手育成増頭推進	1,460,000	1,460,000	JAしまね雲南地区本部他6集団
(2) 遺伝的多様性に配慮した改良基盤確保	0	0	
(3) 優良繁殖雌牛導入支援	370,000	370,000	JAしまね雲南地区本部
(4) 繁殖雌牛の増頭に資する簡易牛舎等の整備	0	0	
(5) 肉用牛ヘルパー活動推進	13,775,694	5,506,282	やすぎ肉用牛ヘルパー組合他9集団
(6) 特定地域肉用牛広域処理円滑化支援	469,135	312,703	隠岐島後・島前死亡牛協議会
(7) 肉用牛振興推進指導	2,753,229	2,753,229	島根県畜産振興協会
2. 地域の特色ある肉用牛振興対策事業			
(1) 地方特定品種等の振興	0	0	
(2) 離島・山振地域肉用牛振興	10,814,600	10,814,600	JAしまね(畜産課)
(3) 肉用牛振興推進指導	865,493	865,493	島根県畜産振興協会
合 計	30,508,151	22,082,307	

イ. 肉用牛経営安定対策補完事業（強化哺乳技術を活用した早期出荷支援事業）

((独)農畜産業振興機構)

実績額 476千円

肥育牛の出荷時期の早期化に有効な強化哺乳技術を活用した子牛生産の取り組みを支援するため、特定の栄養規格を満たす代用乳を購入し哺育する農家に対し、奨励金の交付を行った。6団体に対し、総額444千円を交付した。

〈交付実績〉（交付単価：6,000円/頭）

単位：頭、円

生産者集団名	頭数	奨励金 交付額
島根県農業協同組合雲南地区本部	7	42,000
島根県農業協同組合隠岐どうぜん地区本部	9	54,000
島根県農業協同組合石見銀山地区本部	2	12,000
島根県農業協同組合西いわみ地区本部	12	72,000
三瓶開拓酪農農業協同組合	10	60,000
(一社)島根県配合飼料価格安定基金協会	34	204,000
合 計	74	444,000

ウ. 畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業のうち生産基盤拡大加速化事業（肉用牛）

((一社)全国肉用牛振興基金協会)委託

実績額 949千円

輸出の拡大に向けて輸出に適した和牛肉の増産を図るため、肉用牛の増頭に対し奨励金を交付する事業について、事業の推進業務や事業申請書等のとりまとめ等を行った。

8団体に対し、総額57,889千円の交付となった。

単位：頭、円

取組主体名	頭数	奨励金交付 金額	推進 事務費	交付額計	備 考
安来地区畜産クラスター協議会	19	4,674,000	1,500	4,675,500	
隠岐の島町畜産クラスター協議会	22	5,128,000	2,200	5,130,200	
隠岐島前畜産クラスター協議会	82	18,539,000	30,960	18,569,960	
出雲地区畜産クラスター協議会	71	15,052,000	0	15,052,000	
島根県農業協同組合石見銀山地区本部	40	9,485,000	0	9,485,000	
島根おおち畜産クラスター協議会	4	984,000	0	984,000	
いわみ中央地区酪農・肉用牛クラスター協議会	4	700,000	0	700,000	
石西地域畜産推進協議会	18	3,292,000	0	3,292,000	
合 計	260	57,854,000	34,660	57,888,660	

(3) 和牛改良支援事業

ア. 島根県肉用牛とも補償制度（島根県）

実績額 287千円

種雄牛造成を組織的、効率的に推進するため、新規種雄牛の交配と産子取得及び産肉能力調査に協力した生産者に対して総額14,097千円の助成金を交付した。

（内訳 県補助金 10,064千円、生産者負担金（とも補償財源）4,033千円）

3. 家畜・畜産物の衛生対策等に係る支援・指導のための事業

(1) 家畜防疫・衛生対策事業

ア. 家畜生産農場衛生対策事業（農林水産省）

実績額 7,867千円

牛ヨーネ病及び伝染性リンパ腫（EBL）、牛伝染性下痢症（BVD）の感染拡大防止対策、伝染性疾病の発生・流行防止のための予防接種を実施し、家畜衛生対策の強化を図った。

1) ヨーネ病対策

<令和4年度ヨーネ病とう汰推進費交付状況>

実施地域	交付頭数	検査機関
大田市	1	家畜保健衛生所
浜田市	1	
益田市	3	

2) EBL感染拡大防止対策

<令和4年度EBL検査実施状況>

実施地域	検査頭数	検査機関
松江市	1	家畜保健衛生所
安来市	29	
出雲市	173	
飯南町	66	
雲南市	47	
大田市	155	
浜田市	1,089	
美郷町	63	
益田市	3,258	
津和野町	101	
計	4,982	

3) BVD対策

<令和4年度PI牛のとう汰費交付状況>

実施地域	交付頭数	検査機関
—	0	—

4) 伝染病発生・流行防止のための防疫促進

組織的な対応が発生予防に有効な吸血昆虫媒介疾病の予防接種推進、家畜自衛防疫推進会議を開催した。(接種実績は<令和4年度主要予防注射実施実績>参照)

イ. 家畜伝染病発生予防事業 (独自事業)

実績額 46,436千円

家畜伝染病の発生予防及びまん延防止、清浄性の維持を図るため予防接種を推進した。

1) 家畜自衛防疫推進会議の開催

家畜自衛防疫事業の円滑な推進を図るため、関係機関、家畜自衛防疫団体等の出席のもと推進会議を開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症蔓延のため中止した。

区 分	開催時期	開催場所	参集範囲
家畜自衛防疫地域推進会議 (0回)	新型コロナ感染症蔓延のため開催せず。	—	家畜保健衛生所、自衛防疫団体 (JA、市町村)、農業共済組合、獣医師会、指定獣医師他

2) 広報事業等

家畜衛生対策の普及啓発と情報提供のため、以下の広報事業等を実施した。

ア) 生産者及び関係機関に各種衛生関係パンフレット、カレンダー等を配布した。

イ) 防疫指導機関及び指定獣医師に動薬手帳等を配布した。

3) 予防注射の実施

家畜伝染病の発生、流行防止のため家畜自衛防疫団体及び指定獣医師等と連携し、以下の予防注射を行った。

<令和4年度主要予防注射実施実績>

予防注射の種類	実施頭数	前年対比 (%)
牛5種混合(牛伝染性鼻気管炎)	6,530	99
牛イバラキ病	1,617	101
牛ヘモフィルス感染症	5,330	106
牛アカバネ病 ※	347	85
牛異常産3種混合 ※	1,366	92
牛異常産4種混合 ※	10,539	96
馬3種混合、馬インフル、日本脳炎	124	99

参考：※印は家畜生産農場衛生対策事業対象疾病

4) 飼養衛生管理基準啓発普及支援事業

家畜伝染病予防法に基づく「飼養衛生管理基準」の啓発普及を支援することにより、生産段階における防疫措置・体制の一層の強化・推進を図るため、以下の事業を実施した。

ア) 高病原性鳥インフルエンザの蔓延防止のために鶏を100羽以上飼養している農家に飼養規模に応じ消石灰を配布した。

ウ. 家畜防疫・衛生指導対策事業 ((公社)中央畜産会)

実績額 1, 818千円

1) 地域自衛防疫推進事業

家畜伝染病発生時の対応等を支援するため、防疫演習を行うと共に飼養衛生管理基準に基づく防疫対策の取組等の検討を実施した。

ア) 地域自衛防疫強化推進対策

地域自衛防疫体制の確認、防疫演習等の有効活動方策等の検討会の開催(年1回)

イ) 地域自衛防疫対策の推進(防疫演習の共催)

豚熱及び口蹄疫の防疫対策として、県が開催する防疫演習を支援し、防疫体制の整備・定着を図った。(防疫演習: 1回)

2) 地域農場HACCP認証支援事業

生産農場での衛生管理システム構築、内部検証及び継続的な改善の実施など農場HACCPの取組みを推進し、農場HACCP認証制度の普及促進を図った。

ア) 普及推進協議会等開催

①普及推進協議会

地域における畜産関係団体、農場HACCP関係者による普及推進のための方策について検討

②地域取組促進活動

地域における農場HACCP関係者による、普及推進のための方策の検討、農場への取組みの周知などの活動

・農場HACCP認証制度研修会・講習会

・農場HACCP認証制度取組調査

イ) 農場HACCP認証構築指導推進事業

①構築指導意見交換

②構築指導事業

3) 地域推進事務費

上記ウ.の1)及び2)の事業を円滑に推進するための事務費

エ. 馬伝染性疾病防疫推進対策事業 ((公社)中央畜産会)

実績額 376千円

地域における自主防疫活動の強化を図るため、競走馬以外の乗用馬等に対する馬インフルエンザ等のワクチン接種の推進及び馬飼養衛生状況等の知識の普及啓発などの取組みを行い馬伝染性防疫推進の徹底に努めた。

馬防疫推進のため、地域対策検討会を開催した。

<地域対策検討会開催状況>

開催時期	開催場所	参集機関	内容
令和5年2月	出雲市	県家畜衛生関係機関 JAしまね、獣医師会 県農業共済組合	事業実施状況の報告及び事業推進、馬インフルエンザ等のワクチン接種推進の協議

オ. 馬飼養衛生管理特別対策事業 ((公社)中央畜産会)

実績額 872千円

馬防疫推進のため、委員会及び講習会の開催と馬獣医療実態調査を実施した。

<委員会開催状況>

開催時期	開催場所	参集機関	内 容
令和5年2月	出雲市	県家畜衛生関係機関 JAしまね、獣医師会 県農業共済組合	事業実施状況の報告及び事業推進、講習会開催等の協議

<馬獣医療実態調査実施状況>

調査時期	調査戸数	内 容
令和4年10月	18	家畜伝染病予防法に基づく飼養衛生管理区域の設定、重要な馬伝染性疾患の認識度、地域獣医療の実態調査県下全域

<馬衛生管理技術地方講習会開催状況>

開催時期	場 所	参加者	講 師	講演内容
令和4年9月	西ノ島町	25名	山口大学 共同獣医学部	馬の外貌検査で行う健康診断

<馬衛生管普及検討会開催状況>

開催時期	場 所	参加者	講 師	講演内容
令和4年8月	浜田市 出雲市 雲南市	33名	山口大学 共同獣医学部	馬の公開診療による獣医療体制の構築

カ. 牛疾病検査円滑化推進対策事業 (農林水産省)

実績額 2,738千円

島根県及び地区死亡牛処理協議会と連携し、死亡牛の適切な管理・輸送とBSE検査の円滑化、適正処理を推進した。

<令和4年度死亡牛適正処理実績(化製処理頭数)>

単位: 頭、円

処理 頭数	地区別頭数 (内訳)							生産者に対する 補助金交付実績
	東部	雲南	出雲	県央	石西	島前	島後	
163	7	37	47	44	14	7	7	1,948,700

備考: 当該事業補助対象は96ヶ月齢以上及び96ヶ月齢未満の検査対象死亡牛

キ. 家畜防疫互助基金支援事業（(公社)中央畜産会）

実績額 857千円

家畜の伝染病が発生した場合（口蹄疫、牛疫、牛肺疫、CSF及びASF）、農家への経営支援策として生産者と国で基金を造成し、生産者の経済的損失を生産者が互助補償する事業に養豚農場、各JA及び酪農組合の協力を得て本事業を推進し、生産者積立基金を造成した。

＜令和4年度契約戸数・頭数及び生産者積立実績＞ 単位：戸、頭、円

畜種	飼養戸数	飼養頭数	加入者数(加入率)	契約頭数(加入率)	積立金
乳用牛	824	11,594	672 (81.6%)	11,792 (101.7%)	2,501,075
肉用牛		32,549		28,129 (86.4%)	4,205,430
豚	6	40,941	5 (83.3%)	36,973 (90.3%)	5,109,470
計	830	85,084	677 (81.6%)	76,894 (90.4%)	11,815,975

(注) 飼養戸数及び飼養頭数：令和5年2月1日調査

(2) 獣医師養成確保対策事業

ア. 獣医師養成確保修学資金給付事業（農林水産省・島根県）

実績額 6,849千円

本県での産業動物臨床獣医師への就業を志す獣医学生に対し、獣医修学資金の給付を行い、産業動物臨床獣医師の安定的確保を図るため、給付希望学生を募集し、3名の学生（継続2名、新規1名）に対して獣医修学資金を給付した。

また、返還の申し出があった1名の給付者について、その処理を行った。

イ. 獣医師確保対策就職奨励金給付事業（島根県）

実績額 65千円

本年度について2名に給付するとともに、就職奨励金の管理を行った。

(平成28年度基金造成費 10,000千円 給付金額：500千円/名)

＜令和4年度奨励金実績＞

ア) 就職奨励金実績 2名分：1,000,000円

イ) 就職奨励金残額 7名分：3,500,000円

Ⅲ. 収益事業等

収益 1 書籍販売事業

実績額 80千円

中央畜産会の月刊誌「畜産コンサルタント」その他参考となる図書の購読を斡旋した。

その他 1 調査事務等受託事業

(1) 種馬登録事業 ((公社) 日本馬事協会)

実績額 30千円

島根県農業協同組合隠岐どうぜん地区本部に対して、公益社団法人日本馬事協会の種雄馬管理の登録事務を受託実施した。

(2) 地域畜産支援指導等体制強化事業 ((公社) 中央畜産会)

実績額 1,554千円

生産者等からの各種相談に応じるため、相談窓口を設置し、統括畜産コンサルタント、畜産コンサルタントおよび非常勤コンサルタントを配置した。

また、適切な対応を行うために、所属職員は研修会に参加し、スキルアップを図った。

さらに、生産者からの相談に応じて「第11回全国モーモー母ちゃんの集い in しまね」の事務局運営を行った。

その他 2 事務局事務受託事業

実績額 6,636千円

県内で活動する畜産関係団体の事務局業務を受託実施した。

また、畜産団体相互の交流事業に対する支援を行った。

事務局事務受託先	
島根県牛乳普及協会	しまね畜産女性ネットワーク
島根県乳業協会	島根県死亡家畜処理推進連合協議会
島根県養鶏協会	島根県養鶏クラスター推進協議会
島根県馬事畜産振興協議会	島根県肉用牛とも補償運営委員会